

は じ め に

日本はいま、急速に少子高齢化が進んでいます。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、平成 22 年の人口 128,057 千人、高齢化率 23.0%に対して、平成 37 年には人口 120,659 千人、高齢化率 30.3%になるとされています。大分県では、平成 22 年の人口 1,197 千人、高齢化率 26.6%に対して、15 年後には人口 1,094 千人、高齢化率 34.1%になると推計されており、人口動態統計でも、平成 11 年以降は死亡数が出生数を上回る自然減の状態が続いています。

このような状況に対して大分県では、「安心・活力・発展プラン 2005」において人口減少社会の到来を時代の潮流のひとつと捉え、「子育て満足度日本一の大分県」の実現に向けて、「子育ての喜びを実感できる社会づくりの推進」に取り組むとともに、「高齢者の元気づくりと新たな支え合いづくり」に取り組んでいるところです。

さて、人口減少社会における県民ニーズに的確に対応し、持続可能な社会保障を実現するためには、地域の実態や特性の分析が必要であり、その基礎となる保健統計資料はますます重要となります。

この年鑑は、平成 23 年における人口動態統計、医療施設調査、病院報告、地域保健・健康増進事業報告等の調査結果をとりまとめたものです。この年鑑が行政に携わる方々だけでなく、皆様に幅広く活用していただければ幸いです。

結びに、この年鑑を刊行するに当たり、御協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

大分県福祉保健部長 平 原 健 史